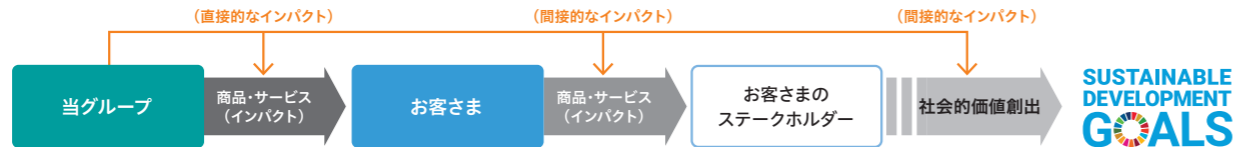


インパクトの創造

①ポジティブインパクトの創造

当グループは中期経営計画において「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据えました。社会的価値は当グループの企業活動が生み出す場合もありますが、多くはステークホルダーからその先のステークホルダーへ影響が連鎖するなかで形成されていきます。SDGsの実現

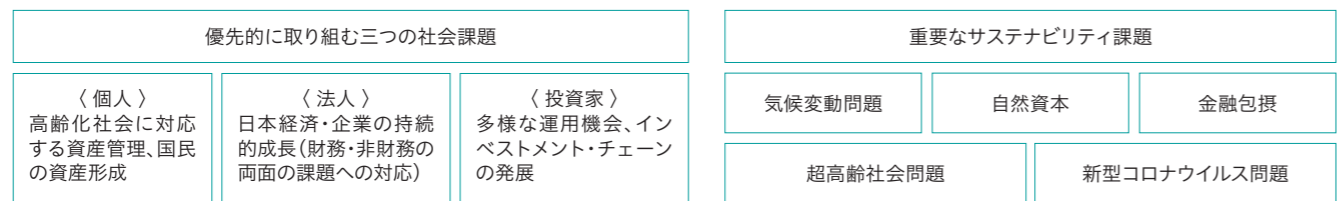
に貢献し最終的に経済(豊かさ)、社会(人間)、環境(地球)に対する良い影響(ポジティブインパクトの創造とネガティブインパクトの抑制)につながる活動が、当グループにおける社会課題解決型ビジネスです。



| ポジティブインパクトの例(推進) | | ネガティブインパクトの例(回避) | |
|------------------|----------------------------------|--------------------------------|--|
| 直接的なインパクト | 再生可能エネルギープロジェクトへの投資 | 環境への配慮が低いビルへの投資割合が高い不動産ファンドの販売 | |
| 間接的なインパクト | SDGs実現に至るプロセスを明確に示した情報開示コンサルティング | 長期的に温室効果ガスの増加につながるプロジェクトへの投資 | |

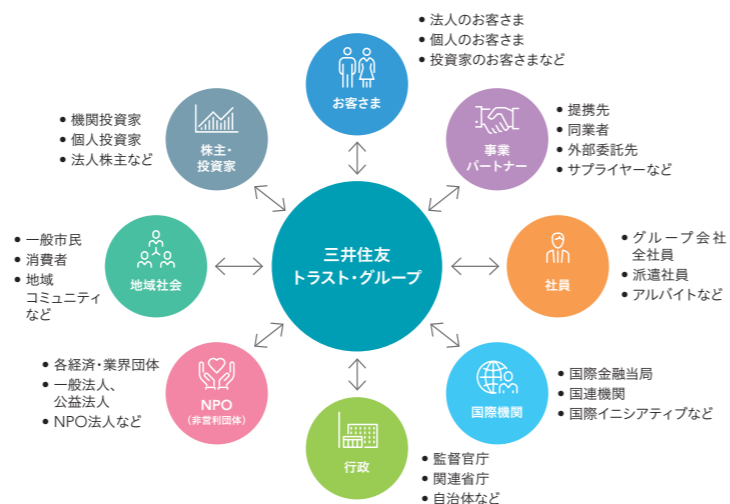
中期経営計画では、社会課題解決型ビジネスとして優先的に取り組む三つの課題を掲げました。また、従来から重視してきた気候変動問題や超高齢社会問題に加え、新型コロナウイルス問題などの新たなサステナビリティ課題への対応もビジネスとして取り組んでいく方針です。

他方、新型コロナウイルス問題や気候変動問題など、従来想定してこなかったESGリスクへの懸念が高まっています。ビジネス機会の追求だけでなく、こうした新たなリスクへのレジリエンスを高めることも重要なテーマです。



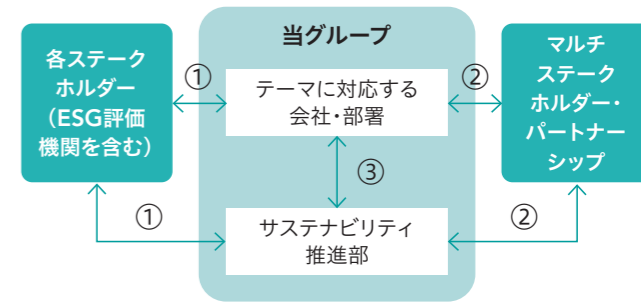
②当グループのステークホルダー

当グループは経営理念(ミッション)において、お客さま、株主、社員、社会をステークホルダーに掲げ、社会的責任に関する基本方針(サステナビリティ方針)において、主要なステークホルダーとしてお客さま、株主・投資家、社員、事業パートナー、地域社会、NPO、行政、国際機関を列挙し、対話を尊重し、持続可能な社会の構築に積極的な役割を果たすことを宣言しています。このように相手を明らかにすることで、当グループが各ステークホルダーにどのように依存し、かつ影響(インパクト)を与えているのかの把握が容易になっており、社会的価値創出のための戦略基盤が整っています。



ステークホルダーエンゲージメントの三つのアプローチ

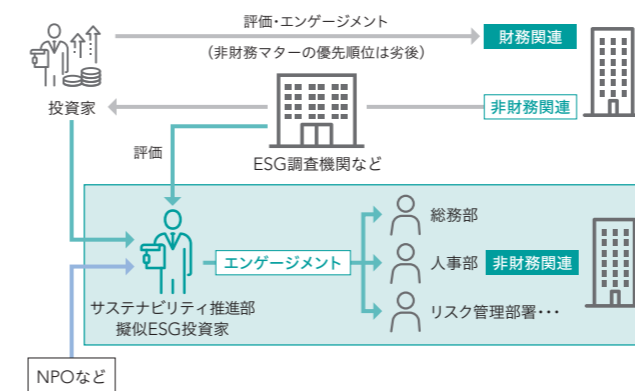
当グループのステークホルダーエンゲージメントは、テーマに即して関係会社、該当部署(三井住友信託銀行の場合)が直接行うもの(①)、関係会社、該当部署がマルチステークホルダー・パートナーシップに直接参画するもの(②)、サステナビリティ推進部が自身のステークホルダーとの対話やESG評価機関などからの情報収集を踏まえ関係会社、該当部署と行うインターナル・エンゲージメント(③)の3通りのアプローチがあり、対話チャンネルを多様化させ、インプットの質と量を高めています。



インターナル・エンゲージメント

当社では、マテリアリティ項目の中からESG投資家の関心が高い金融セクターの非財務的テーマで、当グループの取り組みに課題があると思われるものについて、サステナビリティ推進部が、投資家が行うような体裁で関係部署との対話を行い、取り組みの向上や情報開示の拡充につなげています。

■インターナル・エンゲージメント



■2020年度の取り組み

| テーマ | 対象部署 | エンゲージメントポイント |
|-------------|-------------|-------------------------|
| コーポレートガバナンス | 人事部・取締役会室 | 主にESG評価機関から指摘された現状の課題 |
| 人的資本 | 人事部 | 人的資本と企業価値の関連性 |
| データセキュリティ | 業務管理部 | 主にESG評価機関から指摘された現状の開示基準 |
| コンプライアンス | コンプライアンス統括部 | 同上 |
| リスク管理 | リスク統括部 | 同上 |
| 気候変動 | 法人企画部 | 化石燃料を取り巻く現状の課題と対応方針 |

③社会的価値創出に向けたポジティブインパクト

国連が中心となってグローバルな社会課題を洗い出し、経済・社会・環境の視点から2030年までに改善を目指すゴールとして17個に整理したものがSDGs(持続可能な開発目標)です。社会的価値の創出は、先々のステークホルダーにポジティブインパクトを連鎖させながら多様なSDGsの実現に貢献する取り組みです。そしてそれは経済(豊かさ

の向上)、社会(人間:Well-being*の向上)、環境(地球:自然資本の維持)の価値向上につながります。創出する社会的価値は、三つの価値の増加分の総和と考えられます。

*人間が幸福を感じる状態。WHO(世界保健機関)は「精神的・肉体的・社会的に満たされた状態」と定義している。